

ガイドラインに基づく「事業者向け放課後等デイサービス自己評価」
及び「保護者向け放課後等デイサービス評価」の実施結果について
放課後等デイサービス事業所 「ハート愛」

1 評価の実施に当たって

当事業所が平成27年2月1日に開所して1年半がたちました。利用児童数も定員程度で安定し、活動内容等も充実しつつあります。ここで、ガイドラインに基づく自己評価及び保護者評価を実施することで、課題発見をするとともに一層の向上を目指したいと考えます。

- 実施時期 両調査とも平成28年10月上旬
- 実施対象 事業所全職員、利用児童保護者様
- 調査項目 厚生労働省のホームページ「放課後等デイサービスガイドラインについて」参照

2 「事業者向け放課後等デイサービス自己評価」結果について

- 「環境体制整備」については、「いいえ」はありませんが、78%が「どちらともいえない（以下「どちらとも」と表記）」に回答しています。細かな改善については随時行っていますが、建物の構造自体の改善は時間が必要です。
- 「業務改善」は、66%が「どちらとも」若しくは「いいえ」と回答しています。PDCAサイクルの内容充実と、HP等による評価結果公表未実施が課題です。研修の機会の確保は高評価でした。職員の特別支援学校での一日教育体験研修など、学校との連携を深めながらの実践的研修が功を奏しているようです。
- 「適切な支援の提供」は、46%が「どちらとも」と回答しています。営業時間の関係で支援終了後に職員間で必ず打ち合わせることが十分できていません。
- 「関係機関や保護者との連携」は、66%が「どちらとも」若しくは「いいえ」と回答しています。医療、卒業後進路先、発達支援センター等の専門機関、児童クラブ等、協議会等、いずれも必要に応じて連携や交流を行っていますが、まだまだ不十分であるとの判断とされます。
- 「保護者への説明責任等」は、7割以上が「はい」と回答しています。未開催の「保護者会」については組織化について今後検討の余地があります。
- 「非常時等の対応」は、47%が「どちらとも」と回答しています。様々な危機管理マニュアルについての保護者との共有、身体拘束を行う場合の「放課後等デイサービス計画」への記載等について今後検討が必要です。

3 「保護者向け放課後等デイサービス評価」結果について

- 「環境・体制整備」について67%の保護者が肯定的評価をしています。本事業所と同じ敷地・建物にあるため、場所の共有を前提に判断されたのではないかと思います。また、職員の配置・専門性についても過半数の高評価を得てい

ます。

- 「適切な支援の提供」については、児童クラブ等、障害のない子どもとの交流は十分でないと評価しています。保護者の期待は大きいと思われます。一方、活動プログラムの多様性については、高評価を得ています。
- 「保護者への説明等」については、保護者と事業所との情報共有について9割程度の高評価を得ています。一方、保護者同士の情報共有の場としての「保護者会」等については、「ハート愛」としてはできておらず、保護者のニーズも高い状況にあるようです。
- 「非常時等の対応」については、法人全体の緊急時等対応マニュアルはありますが、事業所に特化したものの準備及び説明による保護者との共有には至っていません。
- 「満足度」については、ほぼ全員から肯定的な評価をいただきました。日頃の保護者との密なコミュニケーションを評価していただいたものと考えます。

4 今後の課題（改善目標）

- 評価結果のホームページ等への公開及び保護者以外の第三者評価の実施
- なるべく早い支援反省の実施（職員の勤務シフトの工夫等）
- 県子ども総合療育センター等専門機関活用の研修及び障害のない子どもとの交流機会の確保
- 保護者会の早急の設置
- 諸「緊急時対応マニュアル」の保護者との共有の在り方検討

※ 以上の結果と今後の目標を得ることができました。今回御協力くださった保護者の皆様、御協力ありがとうございました。